

2020年12月9日

## 病院内における新型コロナウイルス感染症発生に関するお知らせ

この度一般財団法人博慈会博慈会記念総合病院(院長 岡田憲明)において、入院患者6名、職員7名、計13名の新型コロナウイルス感染症患者が発生しましたので、お知らせいたします。

12月8日に有症状者の職員3名(同一病棟)のコロナウイルス感染が確認され、同日感染職員が勤務している病棟の入院患者6名と医療従事者4名が新たに感染が確認されました。12月9日に感染職員の濃厚接触者に対して検査を行いました。すべて陰性を確認いたしました。現時点では今回感染が確認された当該病棟所属以外の職員については感染を認めておりません。以上の患者並びに職員についてはすべて足立保健所に報告し、その指導に基づいて対応しております。感染患者6名はすべて軽症であり、今後保健所の指示に従って順次感染症指定病院への転院を進めてまいります。感染職員ならびにその濃厚接触者に対しては症状出現時(12月5日)より、全て出勤停止措置を施しております。

感染経路については、足立保健所の疫学調査に協力して解明を進めてまいります。今後の調査で新たに濃厚接触者と判断された方、院内で有症状の方を中心に抗原検査ならびにPCR検査を積極的に行い、感染の拡大を阻止するために全力で取り組んでまいります。全職員に対するPCR検査も検討しております。

足立保健所の指導に基づき、感染が確認された病棟の入退院の停止、ならびに当該病棟患者の移動停止の措置を取っております。今後の診療制限やその解除にあたっては保健所や行政と連絡を取りながら進めてまいります。

コロナウイルス感染が発生した当初より、当院では発熱外来の開設ならびにコロナウイルス感染疑い患者の入院対応を行ってまいりました。全職員に対しても感染対策に対する教育とその実践に最大限の注意を払いながら診療を続けてまいりました。この度13名の感染者が発生したことは、甚だ遺憾であり、その責任を痛感しております。今後はさらなる感染対策に取り組み、皆様に安心して受診していただける病院を目指して職員一同精進してまいります。

以上